

えびの

市議会だより

2020
第123号

令和2年1月20日

Ebino City Assembly Report 2020/1/20 Vol.123



3月定例会は **2月27日(木)**開会予定



市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
市議会は昨年10月、議長以下新しい体制でスタートしました。

議員一人ひとりが漢字「一文字」に抱負を託し、議会活動に努める所存であります。

市民の皆様のご健康とご多幸を申し上げ、より一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

議長 北園 一正

北園 一正 議長

多くの意見に耳を傾け「一心」の市議会を目指します。



各議員、

新年の抱負を

漢字一文字で表しました

公職選挙法により、選挙区内の人にお金や品物を贈ったり、年賀状などのあいさつ状を出したりすることが禁止されています。

中山 義彦 議員

初志貫徹。えびの市の活性化を図るために市民目線で活動します。



遠目塚 文美 副議長

人の結びつきを大切にし、優しく思いやりのある人間関係を築く。



上原 康雄 議員

市民の皆様の声の代弁者として議員活動に全力を尽くします。



竹中 雪宏 議員

未来に向け新たな一歩を踏み出し、前進する年となりますように。



西原 義文 議員

令和の新時代を迎え希望の中で魅力あるまちづくりに努めていく。



令和元年12月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

会期：令和元年11月29日～12月12日（14日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議案第75号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	同 意
議案第76号	えびの市情報公開・個人情報保護審査会の委員の選任について	—	同 意
議案第77号	公の施設の指定管理者の指定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第78号	公の施設の指定管理者の指定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第79号	えびの市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	総 務 教 育	原案可決
議案第80号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備について	総 務 教 育	原案可決
議案第81号	えびの市課設置条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第82号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第83号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第84号	えびの市営住宅条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第85号	令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について	予 算 審 査	原案可決
議案第86号	令和元年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第87号	令和元年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第88号	令和元年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第89号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第90号	えびの市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及びえびの市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第91号	えびの市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	—	原案可決
議案第92号	令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)について	—	原案可決
議案第93号	令和元年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	—	原案可決
議案第94号	令和元年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第2号)について	—	原案可決
議案第95号	令和元年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	—	原案可決
議案第96号	令和元年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について	—	原案可決
議案第97号	令和元年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	—	原案可決
議案第98号	令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について	—	原案可決

2. 陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第 8号	市道松原2号線の通学路に伴う道路に関する陳情書	産 業 厚 生	採 択
陳情第 9号	子ども本位の新しい保育園建設の早期実現に関する陳情書	産 業 厚 生	継続審査

3. 委員会提出議案

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
委員会提出議案第5号	えびの市議会委員会条例の一部改正について	—	原案可決

4. 議員提出意見書案

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議員提出意見書案第3号	国土強靱化対策の推進を求める意見書(案)	—	原案可決

令和元年 12月定例会に 提出された議案

令和元年12月定例会は11月29日から12月12日までの14日間開催し、議案14件、陳情2件、追加議案10件、議員提出意見書案1件、委員会提出議案1件を審議しました。
 (※審議結果の詳細は、p3を参照ください)

公の施設の関係

議案第77号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市養護老人ホーム真幸園は、令和2年度から令和4年度までの3年間に於いて社会福祉法人えびの明友会に管理を行わせるためのものです。
 (※詳しくはp5～6産業厚生常任委員会報告を参照ください)

議案第78号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市アウトドアビジターセンターは、令和2年度から令和4年度までの3年間に於いて株式会社BRIDGE the gapに管理を行わせるためのものです。
 (※詳しくはp5～6産業厚生常任委員会報告を参照ください)

予算の関係

議案第85号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について

歳入歳出それぞれ7,698万6千円を追加し、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ138億8,274万2千円となります。
 (主なもの)

- ・畜産業費 3,333万4千円
- ・観光費 1,423万円
- ・小学校管理費 60万円
- ・小学校教育振興費 40万円
- ・中学校管理費 100万円

(※詳しくはp6～7予算審査特別委員会報告を参照ください)

追加議案 予算の関係

議案第92号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)について

歳入歳出それぞれ751万1千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ138億8,925万3千円となります。主なものは、給与改定に伴う人件費であります。

議案第98号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について

歳入歳出それぞれ8,537万2千円減額し、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ138億48万1千円となります。
 (主なもの)

- ・保育所施設整備事業補助金 ▲8,537万2千円

陳情の関係

陳情第8号 市道松原2号線の通学路に伴う道路に関する陳情書

陳情第9号 子ども本位の新しい保育園建設の早期実現に関する陳情書

(※詳しくはp5～6産業厚生常任委員会報告を参照ください)

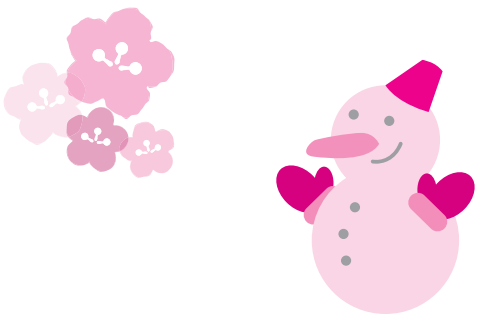
議員提出意見書案

議員提出意見書案第3号 国土強靱化対策の推進を求める意見書(案)

(※本文p16を参照ください)

人事案件

- 固定資産評価審査委員会
 委員 赤川 一郎 氏
- 情報公開・個人情報保護審査会
 委員 河村 旭 氏
 委員 栗坂 三枝子 氏
 委員 成光 眞里子 氏
 委員 徳澄 尚元 氏



総務教育 常任委員会

報告

12月定例会において、当委員会に付託された議案6件について審査を行いました。審査の結果全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。以下主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第81号 えびの市課設置条例の一部改正について

総合的な子ども・子育て支援を推進する「こども課」を設置することに伴い、社会福祉法の規定による福祉事務所の中に「福祉課」と「こども課」を位置づけるもの

です。

問 今回の改正によるメリット

については、
答 現体制では、妊娠期から子育て期までを一体的に所管する部署がなく、福祉事務所と健康保険課の母子健康保険の部分が分かれていたが、一体的にするこ

とで、妊娠期から子育て期までを通して、同じ保健師や職員が、その都度必要な支援を行う事が可能となる大きなメリットである。

問 福祉事務所長及び福祉課長、こども課長の配置や専決事項については。

答 想定として福祉事務所長と福祉課長の兼任と、こども課長の配置により、課長職が一つ増えることと、福祉事務所長兼福祉課長と、こども課長の専決事項は整理されており、福祉事務所長兼福祉課長については、生活保護に関する部分、老人福祉、身体障がい者福祉など諸々で、こども課長については母子寡婦福祉法や児童福祉法等に基づくものを専決区分とする。

問 「福祉課」と「こども課」を分けることで業務上の支障はないか。

答 これまで福祉事務所内でも連携が図られていた子育て支援に関しては、健康保険課の母子保健に関する部分で、妊娠期から子育て期に直結しにくい状況があった。今回の改正で福祉課との連携は当然のことでは他県では虐待など問題が起こっているが、この

ような問題に対処するためにも同じ所属内で担う事で効率化を図っていくことを考えている。

問 「こども課」にどのような係を置くのか。また、「こども課」内に子育て支援係を置くのか。

答 「こども課」内に子育て支援係、こども相談係を設置する予定である。子育て支援係については、福祉事務所で行っていた子育て支援係の児童福祉に関することや保育所、私立幼稚園に関すること、児童手当に関することなどを担う。こども相談係については、保健師を配置し、現在健康保険課の市民健康係が担っている母子保健に関する部分、子ども予防接種や児童福祉施設に関することとを担う。

総務教育常任委員会
委員長 西原 義文



産業厚生 常任委員会

報告

12月定例会において産業厚生常任委員会に付託された議案5件及び陳情2件について審査を行いました。

審査の結果、議案5件については、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。陳情第8号については、討論はなく全会一致で採択すべきものと決しました。また、陳情第9号については全会一致で継続審査すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第77号 公の施設（老人ホーム）の指定管理者の指定について

問 選定委員会委員の外部有識者の職種を示してほしい。

答 公認会計士、宮崎県長寿介護課職員、民間からNPO法人の代表である。

問 指定管理候補者は374点で選定されたが、500点満点の374点ということは、点

数が低かったところがあるはずで、今後問題がでてくる。どれだけの点数であったか。

答 主なものとして、事業計画に沿った管理を計画的かつ安定して行う物的・人的能力の有無については、250点満点中192点あった。点数が低かった項目については、今後、法人を指導していく。

議案第78号 公の施設の指定管理者の指定について

問 市民の方々にアウトドアというものが定着していないというふうを感じるが、どのよう
答 そういった意見は頂戴している。これまで指定管理者に提言はしているが、まだ成果が表れていない。次期は市と連携して、市民等から協力を得ながら運営して頂けると期待している。

陳情第8号 市道松原2号線の通学路に伴う道路に関する陳情書

問 この道路は市道に認定されているか。

答 当路線は市道に認定されている。

陳情第9号 子ども本位の新しい保育園建設の早期実現に関する陳情書

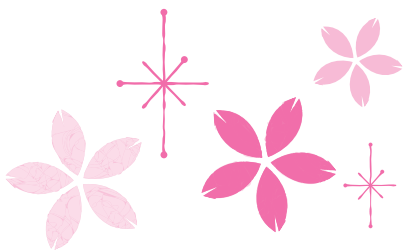
問 保育所建設に関する書類を時系列で示して頂きたい。

答 事前協議の中の建物配置図や規模などの書類は提出可能である。

問 保育士の人材確保をどのように考えているのか。

答 (陳情者答弁) 保育士は確保できるという考えに立っており、確保に向けて段取りをし、数人確保してある。

産業厚生常任委員会
委員長 中山 義彦



**予算審査
特別委員
会報告**

12月定例会において、当委員会に付託されました議案1件の審査を行いました。
審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第85号 令和元年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について

「農業振興費」
・ 農産園芸事業費

72万円

問 水田裏作として玉ねぎ栽培を推進しているが、今回の総事業費・事業主体等はどうなっているか。

答 総事業費144万円のうち、補助率は2分の1である。事業主体はJAえびの市である。現在、1.4ヘクタール生産されており、この機械を導入することによって1.8ヘクタールまで収穫

可能となる。

問 農地の高度利用を考えた事業だと認識している。また、硫黄山噴火による取水制限で作付出来ない田んぼの活用としても期待できる。担当課とJAとで協議をし、特産化が図れるのではないか。

答 今回の予算も水田の利活用と高収益作物の導入、またそれに伴う機械導入により作付面積の拡大・労働時間の削減を図ることを目的としている。今後もしJA等と連携しながら協議の場を設けたいと考えている。

「畜産業費」
・ 畜産防疫対策事業費
3,333万4千円

問 全ての農家の防疫体制が整わなければ意味がない。えびの市内の全ての養豚農家が対象となっているのか。

答 えびの市内の養豚農家総数は46農場あり、そのうち既にフェンス設置がされている農場は対象外となっている。また、今回の事業実施にあたり、各農場への意向調査をする中で、年齢的な問題や後継者不在等で来年以降の経営継続を断念する農家もあり、

そのような農場は含まれていない。今後、再度説明等にうかがい、防疫に努めていただくよう説得する。

「商工振興費」

・企業立地対策事業費

29万8千円

問

日本国内の大手企業が、これまで海外に造っていた工場を、数十年ぶりに国内での工場建設に移行しているようだ。産業団地への企業誘致の見解としてはいかがか。

答

実際に産業団地造成が始まったことで、企業の反応も非常に変わって来たと感じている。様々な情報が入る中で、そのような企業も含まれているのかもしれない。新たな情報を得ながら、これまで訪問していただかない企業等にも訪問させていただくため、不足



産業団地造成

となる費用を補正予算として要求した。

「観光費」

・観光振興費

1, 423万円

問

工事請負費1, 274万9千円の詳細は。

答

主な用途は物販機能を強化するための改修費用で、既存の内装解体撤去工事、売店店舗用の冷蔵機器類の据え付け工事、シンクの設置を含む給排水工事、食品にあてる照明が暗いのでLED設置工事が主なものとなる。これまで4回開催しているえびの高原活性化協議会の中で、物販機能が必要との意見があり、JAえびの市に打診したところ、出店の承諾をいただいた。そこで、以前宮交ショップ&レストランが売店スペースとして使用していた足湯側の2区画を、売り場スペースと休憩スペースにする計画である。

問

工事請負業者の発注については。

答

工事の金額に応じての判断となるが、入札部分については市内業者を予定している。

問

駐車場整備や2階スペース等の全体的な改修、今後の足湯の駅えびの高原の活用方針については、どのような計画なのか。

答

全体的な施設の改修については、国の交付金や補助金を見据えながら来年度の当初予算で要求していく考えである。えびの高原活性化協議会の委員には、国のえびの高原管理事務所・県の自然環境課自然公園室・県の観光推進課の観光企画担当・観光推進課の国内誘致DMO推進担当も参画しておられるので、国・県の事業も見据えながら協議している。県レベルのハード事業に対する補助メニューが減少しているが、今後も、国などの補助メニューを視野に入れながら整備していく考えである。

問

全体的な事業計画が見えない中、部分的な改修で、しかも多額の費用をつぎ込むことは、どのように考えているのか。

答

足湯の駅えびの高原の施設に関する基本整備計画については、現在、えびの高原活性化協議会で4回目の協議を開催し、平面図等が作成され、5回目の協議会内にて協議をし、正式な完成となる。その計画を基に、国の補助事業等への申請を行う予定

である。議会への説明については、第5回目の協議会終了後、早期に全員協議会にて説明させていただきたい。今回、物販部分の改修については、JAえびの市ともすり合わせが完了し、また来年のゴールデンウィーク前のリニューアルオープンを目指しているため、緊急的な措置として予算計上したものである。なお、今年のゴールデンウィーク期間中10連休の入館者数は、1万1,739名だった。この需要に応えるためにも早期改修を計画した。



足湯の駅 えびの高原

予算審査特別委員会

委員長 遠目塚

文美

国歌「君が代」の早期教育を



松窪 ミツエ 議員



質問 学校教育での国歌「君が代」学習指導の取扱いについて伺う。

教育長 小学校学習指導要領で児童が将来、国際社会において、尊重され信頼され日本人として成長するためには、国歌を尊重する態度が大切であると示されている。市内全ての学校で国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるように指導している。入学式、卒業式などの儀式的行事で歌う機会を設けている。

質問 歌詞の意味について指導はされているか。

教育長 高学年において国歌の大切さを理解できるように、歌詞や旋律を正しく指導している。

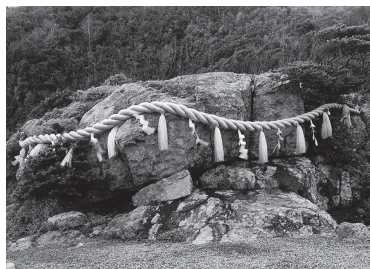
質問 地域防災計画の畜産・農

林産物対策計画に係る一部見直しで、噴火による「噴出物」の文言挿入を提案していたが進捗状況は。

基地・防災対策課長 防災会議に修正案として図り、承認を受けたので、地域防災計画に反映した。

質問 本市でも最も重要な課題である少子高齢化問題、人口減少を克服すべく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2015年度から実施しているが、これまでの達成状況と二期目の新たな視点は。

企画課長 移住定住、企業センター等数種の事業実施計画において成果を得た。多くの機会を得た住民の意見を十分に反映させる。



国歌「君が代」の歌詞に詠ってあるさざれ石

防衛関係企業を誘致せよ



中山 義彦 議員



質問 えびの市には、いくつかの防衛施設が存在し自衛隊と深い関係にある。その利点を生かして、国の関係省庁等に、防衛関係の企業進出を働きかけたらどうか。

市長 産業団地のセールスが出来る状態になっているので、防衛関連企業へパンフレットをメール送付した。

質問 市立病院が市民サービスを向上させて自立していくためには、経営体を変えること等を検討する必要があると考えるが。

市長 現時点では、直営で努力して黒字経営に近付ける。

質問 市役所にまちづくりのための補助金に関する総合窓口を置いてもらいたい。

市長 まちづくりの補助金の窓

口は市民協働課が担当している。

質問 飯野高校への更なる支援策として、スクールバスを廻すことを提案する。

市長 コースの問題と他の高校在生との平等性等を考えると、難しいところであり、公共交通機間の利用等を進めていく。



産業団地計画図

一般質問

市民に寄り添った事業を！



遠目塚 文美
議員



事業を検討していただきたい。

市民環境課長 国の動きもある

ようなので、前向きに検討する。

質問 「産後ケア法」が成立し

た。産後ケア事業の実施が、各市

町村の努力義務とされた。えびの

市の今後の取り組みは。

市長 産後ケア事業は、現在も

取り組んでいる。産後ケアについ

ては、母親だけでなく父親も考え

るべきこと。人材確保にも努める。

質問 乳幼児の眼の異常は、早期発見・治療が出来れば治療効果が高いと、小児眼科医も言われている。そこで、3歳児眼科検診にて、手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置を導入した検査を実施することを6月定例会にて提案したが、その後の検討状況はいかがか。

健康保険課長 他自治体での状況を調査した。来年度の当初予算にて、事業提案を予定している。

質問 高齢者・障がい者のゴミ出しについて、他自治体では要件を満たす方は、担当職員が自宅を訪問し、玄関先から可燃ゴミ・不燃ゴミを回収。希望者には、ゴミ

収集時に声掛けをする支援事業がある。えびの市でも、同様の支援



共同訓練とオスプレイを許すな



西原 政文
議員

の写真展など開催し運動にも協力している。

質問 日米共同訓練受け入れを

表明された。事故率の高いオスプ

レイの参加が考えられ騒音など市

民の安全と畜産など大変な被害が

予想され、受け入れるべきではな

い。

市長 防衛省には市民に被害が

ないように湧水町と共に要請した。

受け入れないとなるとかなりの行

動が必要であり沖縄の負担軽減の

為と市民に影響がないように要請

する。

質問 ローマ教皇が来日され核

兵器と軍備拡張競争は、貴重な資

源の無駄遣いと言われ平和を願う

教皇の姿が報道された。原子力発

電は、安全が完全に保障されない

限り使用すべきでないと言言され

た。市長も国などに対して声を上

げていただきたい。

市長 被爆地や被爆者の心に寄

り添ったものと思う。広島・長崎



飛行するMV-22(オスプレイ)

先を見据えて早い対応を



小宮 寧子 議員



質問 発達障がいはいは5歳頃までに特性が現れる。早期発見・支援のためにも5歳児検診の考えは。

市長 発達障がいはいは早い段階での対応が必要であり、専門的な助言が子どもや家族に有用だと認識している。前向きに早期導入に向けて検討していきたい。

質問 「親なき後」の障がい者の生活を支援するための地域生活支援拠点の整備状況は。

福祉事務所長 令和2年度までに障がい福祉に関する相談支援の中核的な役割を担う相談支援センターの設置に向けて、西諸2市1町による協議を進めている。

質問 歩くことに着目したまちづくりについてどのような考えか。
市長 ※スマートウェルネスシ

ティを実現するための施策の一つと捉え今年首長研究会で会員登録を行った。様々な角度から健康づくりの施策に取り組み、来年度は職員の研修や市民向けの講演会を計画し組織づくりを行っていく。

質問 足湯の駅えびの高原をどのような施設にしていく考えか。

市長 公共的なサービスの提供になかった魅力を取り入れていく。



理解を広めるための啓発冊子

※スマートウェルネスシティ：健康で幸せに暮らせるまちづくり

地域経済振興を市長に問う!!



吉留 優二 議員



質問 地域経済は益々低迷している。地域経済発展のため市内商業者と商工会会員減少対策に取り組むべきだが市長の対策を伺う。

市長 プレミアム商品券をはじめ、商工会の補助金を10年間で400万円増額してきた。また、小規模持続化支援事業に1,000万円その他、起業支援事業センターに1,500万円支援している。

質問 足湯の駅えびの高原の一部をJAえびの市に出店依頼した経過と今後の事業展開の計画を伺う。

市長 物販はJAえびの市にお願いした。今後は観光情報発信や公共サービスを含め5月の連休までには物販を始める計画である。

質問 産業団地誘致企業の誘致活動状況はどのようになっているのか、市内中小事業者や小規模事業者は進出企業の情報が無いことで不安を感じている。進出企業により影響を受ける事業所が早いうちに対策が取れるためにも早く情報公開を願うが市長の見解を伺う。

市長 造成工事は順調に進んでいる。誘致企業の情報公開は、立地協定まで行かないと情報公開は出来ないが、できる限り早い段階での情報公開をしたいと考えている。



造成工事が進む産業団地

一般質問

学校林の活用について



栗下 政雄
議員



質問 市道岡元椿堀線の改良は、時間がかかるようだが完成はいつごろか。

建設課長 完成時期については、計画路線が長いいため、次年度以降の残りが、650mあり、今後も計画的に進めていく。

質問 加久藤中学校には学校林がある。面積、樹齢、樹種は、どのようになっているのか。

教育長 加久藤中学校林には、面積が3・8ヘクタールで樹齢67年、樹種はヒノキがある。

質問 学校林の活用についてアンケートを取る考えはないか。

教育長 学校林の活用について、まずは保護者との意見交換等をしていきたい。

質問 霧島千草木地区水源確保

問題の進捗状況を伺う。

農林整備課長 中山間地域総合整備事業を活用し、既設の小規模水道施設の改修に向けて調査を実施しているところである。この事業のうち「営農飲雑用水施設整備」の工種で対応を進めている。



中学校林

急げ！恒久的な施設整備を！！



田口 正英
議員



質問 未だ稲作の作付ができない地域が約57haあり早急な水質改善対策が望まれている。11月22日に硫黄山・河川白濁対策協議会が開かれ、水質改善へ向けた施設整備の説明があったが、えびの市長として県・国に対してどのように要望したのか。

市長 幸い水質も改善はされてはいるが、抜本的な水質改善のプラントは特に最上流部の目処がたない農家の方々には希望の星であるので恒久的な施設を整備していただくよう強く要望をした。

質問 施設整備の時期についてはいつごろを目処に整備するのか。

市長 財政負担もあることから事業費の相対的な作業など恒久的な施設整備に向け、県と一体とな

り早急に要望していく。

質問 実証・実験圃場については県に対し要望をしたのか。

市長 農業用水基準に達していかなくてもPH3以上になると重金属類が出ないので米が作れるか検証してもらうよう要望はした。

質問 来季に向けた農家支援は。 **市長** 来季も作付は困難であると思っている。今年予算の執行を勘案しながら支援は続けていく。



えびの高原 中和処理施設

危機管理について



上原 康雄
議員



質問 市内小中学校の樹木の安全点検の状況は。

教育長 樹木台帳を活用しながら安全点検を実施している。不十分な部分もあるが安全管理に十分注意し安全確保に努める。

質問 畜産農家の防疫に対する意識の温度差がある。現在の畜産農家への防疫指導の状況は。

畜産農政課長 畜産農家の防疫に対する意識の温度差がある事は事実である。それぞれの農家に合わせた防疫指導を十分に行う。

質問 通学路のカーブミラーの安全点検が重要である。安全点検の実施状況は。

市長 通学路のカーブミラーの安全点検は大変重要な事である。関係機関と協力しながら市民の安



鳥獣害防護柵

全確保に努める。

質問 防災ハザードマップに対する市民の意識が低い。市民に対する説明不足では。

基地・防災対策課長 ハザードマップが有効活用できるように自主防災組織などの協力を得ながら市民に説明をしていく。

災害時の対応並びに農業振興・教育行政について



竹中 雪宏
議員



質問 災害時の対応として、本市のライフライン対策及び避難者への対応は十分であるのか。

基地・防災対策課長 災害時における応援協定やライフラインの協定等を締結しており、各種応急・復旧活動等に対処できる体制を構築している。

市長 避難所の従事職員を増やすことは物理的に難しいので、早期の避難所開設等に対応する。

質問 農業振興について、岡元水系の代替水源は当初の計画通りできないか。また、産業団地を活用したスマート農業を、積極的に取り込む考えはないか。

市長 代替水源は、桜ヶ丘からの取水を計画したが同意が得られていない。理解が得られれば直ぐ



ドローンによる散布状況

にでも着手できる。また、企業誘致について、農産加工場等の企業にもセールスを行っているので、引き続き誘致活動が続けていく。スマート農業の組織の必要性は感じているので、前向きに検討する。

質問 生徒のいじめ問題は、どのように処理しているのか。

教育長 保護者と連携を取り、子供達に適切な対応をしている。

一 般 質 問

市立病院の存続について



金田 輝子
議員



ように、常に努力していくことが大切である。

質問 市民の声には、産業団地よりも市立病院を優先して欲しいと要望がある。市長の集大成の一つの中に、市立病院の建て替えをめぐす考えはないか伺う。

市長 耐震性で問題はないので現時点で建て替えの考えはない。

質問 国が再編や統合の議論が必要とした公表に対して、市長は病院は残す方向で充実を図っていくと強く存続希望をなされた。市民利用促進に向けての対策を伺う。

病院事務長 人口減少や医師不足など入院外来患者の減少を招いている。医師も7名から4名となり患者が減少し、医師確保が最優先である。本年度立ち上げた地域医療連携室を活用して、市内の医療機関や関連施設と連携し、不足する医療を補完する体制を整えていく。

質問 市立病院は御自分で来院する人達が多く、自宅と一番密接な場所と考える。どのような市民サービスが必要と考えられるか。

市長 必要とされる病院になる



えびの市立病院

自衛隊の防衛・防災講話を



蔵園 晴美
議員



企業立地課長 11月末で107件うち新規24社。大型商業施設とは引き続き情報交換していく。

質問 自衛官による防災・防衛講話を提案している。市内学校への対応はどうしているか。

教育長 自衛隊による講話は市内の校長会を通じて紹介して、本年度自衛隊による防災講話実施予定の学校がある。隊員より見聞きすることで実感と意識もできる。

質問 えびの駅活用について、地域との協議はどうなっているか。真幸駅の活用についても利用団体、地域との協議はどうなっているか。街並み形成計画は考えているか。

企画課長 地域住民と意見交換している。ガイドクラブも活用したいとのことであったが、えびの高原足湯の駅に関わることにより意見交換を見送った。今後とも意見交換をしていきたい。街並み形成は今後の課題である。

真幸駅については、自治会・利用団体の代表で協議し共同で駅舎管理をしていくことに合意した。

質問 本年度企業訪問目標120件、新規50社の訪問目標であるが実績は、又大型商業施設との協議はしているか。



自治会・利用団体で共同管理に合意

◎ 委員会等視察報告 ◎

総務教育常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年11月21日（木）
水源地（又五郎谷）

■目的
水道事業について

■調査内容

又五郎谷水源は、昭和52年から昭和55年にかけて飯野、加久藤地区を含むえびの市全域を給水対策として第3次拡張事業を実施し、水源地を熊本県境の又五郎谷に求め、柿木原浄水場配水池の設置及び送配水管の拡張を行い、昭和55年6月1日に給水開始となりました。平成21年から自然災害等により市内全域への安定的な供給が困難となった時に備え、第2水源として深層地下水を利用した山内浄水場を整備したことにより、えびの市では2つの浄水施設から安定的な供給を図っているとの説明をうけました。

浄水場では3人体制で必ず職員が待機し水の状態を管理しています。

総務教育常任委員会

委員 西原 義文



水源地(又五郎谷)

産業厚生常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和元年11月19日（火）
えびの市大字湯田・西郷地区内

■目的
産業団地造成状況等について

■調査内容

出来高金額による10月現在の各工区の造成状況は、1工区・竹下・吉元組JVが12.0%、2工区・児玉・金原重機建設・弓場造園土木JVが5.0%、3工区・原・ゆうひがしJVが15.5%、4工区・大木場産業が15.3%、5工区・築・コスモ緑化建設JVが5.0%という事で、搬入土量の11月現在の進捗状況は、計画土量217,000m³に対し、搬入土量142,313m³で進捗率65.5%との説明を受けました。

工事時間は、8時～17時の間にダンプトラックで土砂を搬入し、一台当たりの積載量は5m³との説明がありました。

地域住民及び通学路等の安全管理対策の状況について、湯田橋交差点付近と造成地出入口の交通誘導員を配置し造成出入口は、地元一般車両と通行者優先としています。

防塵対策として工事現場内は、防塵ネットを配置し、工事現場付近道路には散水車で定期的に散水して、その他防塵対策を検討中です。

工事車両の通行による防音対策

は、土砂運搬運行ルートの変更などを、国土交通省の対応で行っています。

また、地元車両優先通行を工事関係者に徹底し、誘導員にも指導を行っています。

今回の産業団地造成工事状況等の調査で、工事は計画通りに進んでおり、地域住民との意見調整を取り問題解決を図りながら対策を行ってまいります。

企業誘致活動の状況を商工業者に早めに情報公開を要望するとともに、えびの市民及び地域住民との更なる意見交換をきめ細やかにしてまいります。

産業厚生常任委員会は、今後も産業団地整備事業について調査研究し、工事及び事業を見届けてまいります。

産業厚生常任委員会

委員 吉留 優二



産業団地視察状況

◎ 研修報告 ◎

西諸州市郡議会議長会議員研修会報告

■日時・場所

令和元年11月12日(火)

高原町総合北円福祉センターほほえみ館

■研修内容

LGBT(性的少数者)について
基本的理解・一人一人に「今」できることは

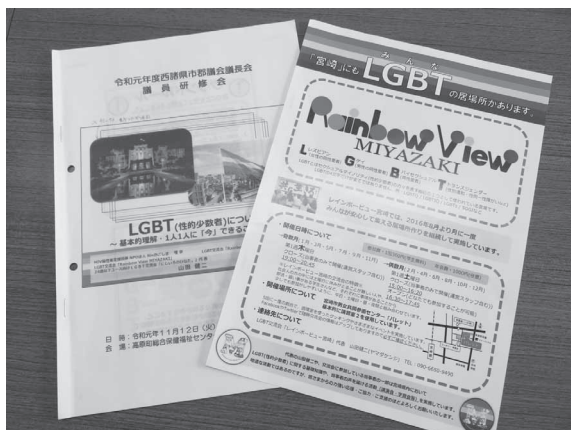
お二人の講師の事例を基にした「自分自身もLGBTであり、誰にも打ち明けられない心の苦しみを抱えてきましたが、そういう自分をようやく受け入れたとき、生きていく希望がわきました。」と心に響く内容のLGBTへの理解と社会啓発への懸命な講演でした。

今、私達にできることは、LGBTの方々に対する基本的理解を深めるために無関心を捨て、「人権」としての意識を持つことではないかと思えます。

講師の呟きで、「一人一人が生きやすい社会を目指すには、お互いがお互いを認め合える職場・学校・家庭・地域環境を整えていくことが大事だ」という事を忘れないでいただけたら幸いです」との言葉があり、私も強くそう思いました。

※「LGBT(性的少数者)の方々を表す総称の一つとしてテレビ、新聞などでよく使われている言葉ですが、Lとはレスビアン(女性の同性愛者)・Gとはゲイ(男性の同性愛者)・Bとはバイセクシュアル(両性愛者)・Tとはトランスジェンダー(性同一性障がい・性別違和)のことです。」

松窪 ミツエ



議会傍聴

しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告をうけます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。



12月定例会で可決した意見書

国土強靱化対策の推進を求める意見書

近年の豪雨、高潮、暴風・波浪、地震、豪雪など、気候変動の影響等による気象の急激な変化や自然災害の頻発化・激甚化に我が国はさらされている。このような自然災害に事前から備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化は、一層重要性が増しており、喫緊の課題となっている。

こうした状況を受け、国においては、国民経済や生活を支え、国民の生命を守る重要インフラ等の機能維持のための対策に、令和2年度までに集中的に取り組むこととしている。

本市においても、激甚化・頻発化する豪雨災害や霧島連山の噴火、切迫する南海トラフ地震などによる大規模自然災害から市民の生命を最大限に守るため、高速道路のミッシングリンクの解消や国道447号の整備等による道路ネットワークの機能強化をはじめ、河川改修や農業及び林業生産基盤などの社会資本の整備を早急に進めていく必要がある。

よって、国会及び政府においては、これらの状況を踏まえ、あらゆる災害の未然防止と発生後の迅速な対応に向け、地方創生の取組とも連携した国土強靱化対策のより一層の推進が図られるよう、下記事項に特段の措置を講じることを強く要望する。

記

- 1 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を推進するため、国や県、市が行う対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- 2 3か年緊急対策後も、継続して国土強靱化対策を推進すること。また、災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。
- 3 長寿命化計画に基づく戦略的な現有ストックの修繕や更新等の老朽化対策が確実に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、長期安定的に必要な予算を確保すること。
- 4 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、国の地方支分部局、とりわけ地方整備局及び河川国道事務所・出張所の人員体制の維持・充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月12日

宮崎県えびの市議会

小宮 寧子 議員

自分らしさを失わず
志を持って優しく生きる。



吉留 優二 議員

朝は希望に目覚め
昼は努力に生き
夜は一日に感謝。



金田 輝子 議員

自分との約束心に
決めた目標を守れ
る本気度を示そう。



小東 和文 議員

自分が信じた方へ
正々堂々と確固と
した志をもち進
みたい。



田口 正英 議員

信じた道を進み、
魅力ある地域社会
を目指し、令和の
道をつくる。



松窪 ミツエ 議員

幸せに寄り添い織
りなすまちづく
り、純粋な気持ち
を強く心に誓う。



西原 政文 議員

災害と紛争のない
安心安全な社会を
望みます。



蔵園 晴美 議員

昨年一年に感謝・
今年一年の幸多き
とご健康をお祈り
します。



栗下 政雄 議員

進める、結果を出
す。一生懸命に頑
張ります。



議会日誌

【令和元年9月】

20日 9月定例会(閉会)

全員協議会

25日 硫黄山からの泥水対策に

伴う水質改善処理施設整

備を求める意見書提出

27日 議会広報特別委員会

30日 議会運営委員会

25日 えびの市戦没者追悼式

【令和年11月】

1日 議会広報特別委員会

全員協議会

7日 行政視察受け入れ

(北海道足寄町議会)

12日 西諸州市郡議会議長会

議員研修会

13日 ひとりだけの金婚式

19日 産業厚生常任委員会

(管内調査)

21日 総務教育常任委員会

(管内調査)

22日 金婚者祝賀会

26日 議会運営委員会

29日 12月定例会(開会)

【令和元年10月】

2日 第61回宮崎県畜産共進会

総合開会式

3日 10月臨時会

8日 行政視察受け入れ

(富山県朝日町議会)

9日 議会広報特別委員会

23日 議会広報特別委員会

24日 行政視察受け入れ

(青森県つがる市議会)



編集後記

天皇陛下が即位され、平成から令和へ新元号と共に新しい時を刻み始めました。

輝く新時代の始まりです。

時の流れを肌身で感じ霧島連山をはじめ、大地と山々を仰ぎ見ると清々しい気持ちになります。

かつて山伏の修行の霊地であった渓谷は、巨大なクルソン岩がそり立ち清らかな清流を湛え、その清流は輝きながら川内川の流れと変わり、故郷の田畑を潤し秋に実りをもたらしています。

四季折々時を重ねてきた古里の景色の中で、多くの先人がこのえびのの地で歩み育んできた風景はとても綺麗です。
新年度の幕開けと共に市民の皆様のご幸福を願い、議会だよりをお届けします。

議会広報特別委員会

副委員長 吉留 優二

